

西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～ よく学び 笑顔いっぱい 一人ひとりが輝く教育の推進 ～

《 学 校 教 育 目 標 》

—夢がわき 心もはずむ 西小の子—

・素直で心豊かな子

・進んでくり返し学習する子

・ねばり強くたくましい子

9月1日「防災の日」に学ぶ

校 長 竹谷 浩一

静かだった学校に、子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み中、子どもたちの命に関わる大きな事件や事故の連絡もなく、順調なスタートを切ることができたと思います。これも、保護者や地域の皆さまのおかげと感謝しております。

9月1日は「防災の日」です。これは、大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大震災を教訓として、「広く国民が、台風や高潮、津波、地震等の災害への認識を深め、これに対応する心構えを準備する」ため、昭和35年(1960年)に制定された日です。関東大震災では、マグニチュード7.9の大地震によって、東京・横浜を中心に埼玉県においても甚大な被害をもたらしました。また、昭和34年(1959年)9月26日には、伊勢湾台風が紀伊半島や東海地方を襲い、全国規模の災害となりました。こうした災害が9月に集中したことから、災害への備えを怠らないようにとの戒めが込められているのだそうです。

例年、本校では児童対象に、避難訓練を年3回以上(4月、9月、1月予定)計画し、4月の1回目は、引き渡し訓練を兼ねて実施し、7月には、児童に事前の予告なしで休み時間に火災を想定した訓練を実施しました。さらに11月7日(土)には、避難所運営訓練が予定されているなど、年間を通じて防災意識を高める機会が設けられています。

熊本の地震や千葉の豪雨災害など、立て続けに心の痛む事態が発生しました。被災地の皆さんにお悔やみとお見舞いの言葉をお伝えするとともに、西浦和小の子どもたちに災害への意識を高めていきたいと考えています。

【2学期の主な行事(経験)予定】 ※天候等により、期日・実施方法等が変更になる場合があります。

10月10日(土) 運動会(予備日10月14日(水)以降順延)

10月16日(金) 3年社会科見学

20日(火)～21日(水) 6年修学旅行

23日(金) 1年遠足 29日(木) 6年つぼみの日(中学校訪問)

11月 6日(金) 学校公開(2, 3時間目) 13日(金) 4年社会科見学

20日(金) 校内音楽会 21日(土) 音楽会(保護者参観)

12月14日(月) 5年社会科見学

25日(金)～1月6日(水) 冬季休業日

1学期の終業式で、子どもたちに「夏休みだからこそ、できることがたくさんあります。体を使って、頭も心もしっかり働かせて、素敵な夏休みにしましょう」と伝えました。確かに書籍やICTを活用した学習も多く、成果が期待できます。しかし、自ら体をいっぱい動かし、頭と心を働かせながら行う経験は子どもたちの記憶に残り、多方面で大いに役立つ力となります。西浦和小ではこうした経験を大切にしながら、これからも教育活動を展開していきます。

校長のつぶやき

2011年(平成23年)3月11日(金)14時46分に発生した東日本大震災。当時私は、西区にある栄小学校に勤務していました。地震が発生したのは、ちょうど低学年が下校途中、中・高学年は6時間目の授業中のタイミングでした。地面を突き上げるような轟音とともに、1回目の大きな揺れで、廊下の床が波打つようにひび割れ、壁があちらこちらで裂け、ガラスが何十枚も割れました。教務主任だった私は、揺れが収まったタイミングで教職員と児童に校庭へ避難するよう全校放送を行いました。校庭に避難して間もなく、2回目の大きな揺れがありました。その時、校舎の損壊が一層進んだように思います。その後は、児童を体育館に留め置き、保護者への引き渡しを行いました。退勤したのは、日付を跨いだ12日(土)未明でした。信号機が消え、街じゅうが真っ暗な中、やっとの思いで帰宅したのを今でも鮮明に覚えています。